

令和6年第12回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 令和6年11月20日（水）

2. 場 所 浅口市中央公民館大講義室

3. 開 会 午後1時30分

4. 閉 会 午後2時05分

5. 出席者 中野留美 高戸崇 藤澤弘幸 佐藤賢次 河野由美子

6. 説明のために出席した者の氏名

教 育 次 長	難波勝敏	理 事	竹本好之
教育総務課長	大島永太郎	学校教育課長	池田一成
保育未来課長補佐	唐川智恵	ひとづくり推進課	佐藤秀志
金光分室長	中嶋利恵	寄島分室長	山本峯廣
学校給食センター所長	安原直子		
教育総務課	平井恵美子（事務局）		

7. 傍聴人 なし

8. 議 事

日程1 議事録署名委員について
浅口市教育委員会会議規則第29条により藤澤委員を指名。
(了承)

日程2 会期について
本日11月20日の1日会期。
(承認)

日程3 議案第37号 浅口市立学校管理規則の一部を改正する規則
について
(学校教育課長)
資料により説明。

浅口市立学校管理規則の様式第6号その1とその2、小学校特別活動実施計画書と中学校特別活動実施計画書がある。教育委員会に提出する計画書になるが、この度特別活動について新学習指導要領が改訂され、小学校は令和2年度から完全実施、中学校は令和3年度から完全実施となっている。現行の学習指導要領と特別活動実施計画書の整合がうまく取れていない箇所があることが分かったため、新学習指導要領の内容に基づいて、一部を改正するものである。特別活動とは、教科学習以外の学校教育活動になる。具体的に言うと、学校行事、学級活動、児童会活動、委員会活動、生徒会活動といったものである。小学校の旧様式は、両括弧1、学級や学校の生活づくり、両括弧2、日常の生活や学習への適応及び健康安全の2観点であったが、新様式には両括弧3、1人1人のキャリア形成と自己実現が加わった。新学習指導要領に基づき、この3観点を評価し計画を立てるよう変更している。中学校については、学級活動の部分、学級や学校における生活づくりへの参画、日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全、1人1人のキャリア形成と自己実現となる。新学習指導要領に基づいての様式変更である。

(承認)

日程4 諸般の報告について
(学校教育課長)

学校訪問について、それぞれの学校に行き、学校の様子等見ていただきありがとうございました。

金光中学校の研究会にも参加いただきありがとうございました。学校毎のそれぞれの良さや、課題について教えていただければ今後に繋がると思うので、お願いします。

寄島学園について、10月25日に寄島中学校感謝祭を行った。子どもたちが主体となって温かい会を行った。中学生が小さい子のことを考えながら案内をし、内容を考え、思い出に残る会となった。

1月19日土曜日に寄島中学校で、地域の方や寄島中学校が母校の方に寄島中学校を開放し、自由に来ていただいて、校舎の中を歩いていただき、思い出の続きを体験できるようなコーナーを設けることを計画している。

おかやま山陽高校野球部提監督に指導を頂いて、部活動の地域移行に向けた実証事業としておかやま山陽高校と連携して12月4日に眠っている力を呼び起こすということでイベントを行う。今回初めての取り組みである。

(教育長)

学校訪問について、11月8日の鴨方中学校の訪問についてご意見ありますか。

(教育委員)

数年前から比べると、非常に市内の子どもたちが落ち着いており、立ち歩くようなことはなく、非常にいい雰囲気で作っているなというのが第1印象であった。気になったのは、教室が非常に狭い。人数の関係でそうなるのかもしれないが、1番かわいそうだったのが机である。よその学校では天板が広がるようになっており、Chromebookが落ちないようにしているが、それさえも入れられないということで、非常に小さい机に大きな中学生がちょこんと座って教科書の上にChromebookを置いて授業しているような状況であった。中には少人数でのクラスもあったが、あの人数で1クラスで授業するというのは子どもたちにとっても非常に圧迫感があった。できることなら少人数制であるとか、そういう授業をもっとたくさん取り入れて、子どもたちにもう少しきめ細やかな授業ができれば非常にいいのではないかと思った。整理整頓もできていないような教室もあった。できるスペースが人数が多いのでない、もう少し考えて工夫をした方がいいのではという気がした。

(教育長)

ロッカーの件は以前から検討で出ている。なかなか難しい、ロッカーの数を増やすのも難しい。高くしても今度は使いにくくなるということがある。

(教育委員)

空き教室をロッカー室にするということはいかないか。少しでも広げるような何か工夫ができたらいいかと思う。

(教育長)

学校と相談しながら、研究していきたい。

(教育委員)

全体的には、校長のリーダーシップだろうと思うが、iチェッ

クを活用した上で、組織的・計画的に学校運営が進められてる印象を非常に強く受けた。従って先生方も子どもたちも元気のある表情をしており、全体的にそういう印象を受けた。要望としては、講師としての菊池先生の招聘についてがあった。長く指導を受けているが、直接菊池先生に来てもらう機会を持ち、指導を受けたいという非常に強い希望があった。

(学校教育課)

以前、市として学級経営アドバイザーとして、菊池先生に指導をいただいていた。事業を通して非常に菊池先生の考えが浸透し、良い状態になってることは成果として見えてきている。鴨方中学校では、全校集会を開いて生徒たちがほめことばのシャワーの意味や価値を先輩から後輩たちに受け継ぐことをしている。そういった主体的な活動を今しているので、非常に価値があると思っている。学校としては活動を今後検討をしながら、ただ今の学校もいい体制ができていますので、そこはぜひ継続してやっていただきたい。

(教育長)

教育助成のような制度等を研究したい。

(教育委員)

皆さんが言われた通り学校も非常に落ち着いている。最近訪問できた学校はどこも落ち着いていた。タブレット端末も最初の頃に比べると使いこなしている。菊池先生への要望は本当に強いものであった。具体的にそんなに評価の高いものなのか。どの程度のものなのか。

(教育長)

何年か事業として取り組み、その成果を出している中である。

(教育委員)

いつまでも続けてと言うことにはならないと話をさせてもらったが、それでも強い思いがあるようだった。

(教育長)

教育はすぐに成果が出るものではないので、でも今出てる状況があるということは、それを続けている意味であると思っている。ずっとと言うわけにはいかないが、何か変化があったときにまた指導を受けて引き継ぐ等そういうことは必要だとは思う。

(ひとづくり推進課)

11月24日、おかやま民俗芸能フェスティバルの開催について、ふれあい交流館サンパレアにて開催する。2年に1回開催されているもので、主催は岡山県民俗芸能大会実行委員会で、県の文化財課の中に事務局がある。金光ひがさき踊り保存会が参加をする。

古典文学講座について、源氏物語の紫式部をテーマとして講座を開く。講師は山陽学園大学の教授である佐藤先生で講座を開く予定にしている。

京都大学せいめい望遠鏡のテレビ観望会について、年2回行っているものだが、12月8日に京都大学の岡山天文台3.8mのせいめい望遠鏡と天文博物館のプラネタリウムをつないでモニターで月を見るようなテレビ観望会を開催する。

(金光分室長)

12月15日日曜日、毎年恒例の子どもたちの文化祭、金光キッズフェスティバルを金光公民館で開催する。現在、参加団体を取りまとめ、開催についての準備している。

(寄島分室長)

浅口市マラソン大会の開催について、12月8日日曜日午前9時10分から開会式を行う。

(教育長)

今年はコースが変わっているが、安全第一で行いたい。学校給食センター所長を指名する。

(学校給食センター所長)

今週は地産地消週間ということで献立を立て、給食の提供を行っている。昨日はままかりの南蛮漬けを出したのでそれに合わせて各学校にチラシを配布し、給食の時間に各クラスでままかりについて紹介していただいている。

日程5 その他について

(保育未来課長補佐)

1月の園訪問の案内について、六条院こども園、金光幼稚園、竜南保育園の3園に訪問する予定としている。

次回教育委員会議

定例会 令和6年12月17日(火) 13時00分から

令和 6 年 12 月 17 日

浅口市教育委員会

教 育 長 中 野 留 美

委 員 藤 澤 弘 幸

作 成 職 員 平 井 恵 美 子